

LIFE TIMES

三菱ケミカル物流株式会社
<http://www.mclc.co.jp/>

迎春



2019年1月7日(月)発行 【季刊誌(年4回)発行】

発行部署 : 陸運事業本部 企画部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 石山 義裕

新年号
(No.137)

【目次】

1. 2019年 新年のご挨拶
2. MCLC 安全QA大会開催
3. 国交省 ドライバーの長時間労働抑制へガイドライン公表
4. 三菱ケミカルグループ生産技術ポスターセッション参加
5. MCLC場所紹介 ～西日本エリア営業部 大阪営業所(大阪府大阪市)～
6. 2018 Japan IT Week 秋 講演会聴講レポート
7. 2019年前半 物流関連 展示会のご紹介

1. 2019年 新年のご挨拶

執行役員陸運事業本部企画部長 白土 雄二郎

明けましておめでとうございます。平成最後のお正月でもあり、皆さま感慨深くも新しいスタートを心静かに待つご心境のことと思います。

昨年は、大阪・北海道での大地震、西日本豪雨、超大型台風など自然災害が多く発生し、大変不安の多い苦難の年でした。一方、京都大学の本庶佑特別教授のノーベル医学生理学賞受賞、平昌冬季オリンピック、サッカーワールドカップ・ロシア大会での日本選手の活躍、大坂なおみ選手が全米オープン女子シングルスで優勝など明るいニュースも多くありました。

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調でしたが、通商政策を巡るトランプ政権と各国との対立等、世界経済の不確実性が景気の下押しリスクであると言われてしています。

その中で当社は、今月より新業務統合システム(AJIOS)を全面スタートし、お客様によりお役に立てる物流会社へと進化して参ります。全社を挙げた「働き方改革」では、最先端のICT(RPA*、OCR*、AI等)を活用し、お客様へご理解・ご協力もお願いしながらwin-winの関係を目指します。また、安全・コンプライアンスを最優先しながら「お客様目線の物流効率化」を使命として取り組んで参ります。幅広い物流共同化や、新たなビジネスモデルの構築(ケミカルワークステーション事業、国際一貫物流)を引き続き推進します。

今年は、新天皇陛下の即位と元号の変更、消費税率10%へ引き上げなど歴史の節目となる年です。東京オリンピックの前年でもあり、日本開催のラグビーワールドカップや柔道世界選手権大会、サッカー女子ワールドカップ・フランス大会などで盛り上がりそうですね。

今年の干支である猪は突然現れる動物とのことで、今年は突然大チャンスが来るかもしれません。その時に、ことわざの「猪見て矢を引く(事が起こってから、慌てて対策を講ずること)」にならぬようにしたいものです。

最後に、本年も皆さまにとって実り多い良い年となりますよう、祈念いたします。



*RPA: Robotic Process Automationの略、人がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動操作に替えること
*OCR: Optical Character Readerの略、手書きや印刷された文字をスキャナ等で読み取り、電子データに変換する技術

2. MCLC 安全QA大会開催

昨年11月14日、当社水島支社において安全QA大会を開催しました。

当社社長の福田以下、会社幹部出席の下、お客様、協力会社の皆様にも多数ご参加頂き、鹿島・黒崎・四日市・水島・坂出・長浜の6支社と尼崎油槽所、子会社である菱化ロジテック社の発表に対して活発な討議が行われました。

今回の発表では、充填作業における各種問題点の改善、「5W1H思考」による問題点の改善、トラブルの再発防止や未然防止活動、輸送トラブル撲滅に向けた取組み、新規業務立ち上げ時の安全対策、お客様と一体となったRC活動、新規委託先倉庫でのトラブル未然防止活動など、幅広い活動が報告されました。

参加者からは、現場の意見の吸い上げ方法や、現場での安全QA活動を継続させるための工夫、次のステップへの活動展開などに関して多くの質問や意見が出され、情報共有化の観点からも大変有意義な大会となりました。

社長の福田からは、「安全、QA、更にコンプライアンスを徹底していくためには、

①仕組み ②組織風土 ③人、
これら3つの観点から進めていくことが大切」「安全な仕組みを構築し、安全意識の高い組織風土ができて、最後にそれを守る人を作ること
で、安全・安定輸送をしっかりと進めていきましょう」との総評がありました。



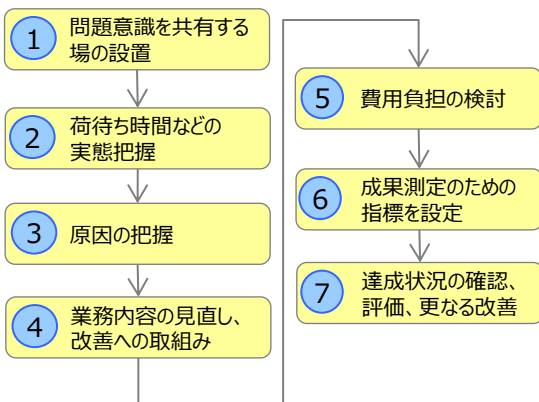
3. 国交省 ドライバーの長時間労働抑制へガイドライン公表

国土交通省と厚生労働省では、トラック運送事業における取引環境の改善及び長時間労働の抑制を実現するための環境整備を図ることを目的として、2015年度より学識経験者、トラック運送事業者、荷主、労働組合などの関係者から構成される「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を各都道府県などに設置しています。

その協議会において、トラック事業者と荷主とが連携して、荷待ち時間の削減や荷役作業の効率化など長時間労働の抑制を図るためのパイロット事業を2016年度から2か年度にわたり実施し、今般、その成果が「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」として公表されました。

長時間労働が改善され、トラックドライバー不足解消に繋がることが期待されます。

【取組みの進め方】

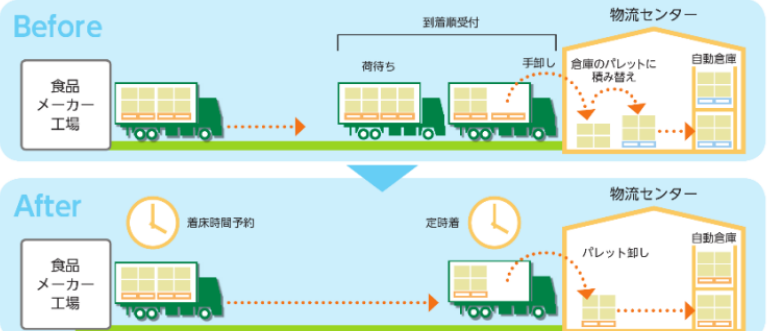


(出典／国交省発表資料より)

【長時間労働改善等に向けた対応例】

参考事例① 一貫パレチゼーションと受付予約システムで着荷主滞滞在時間を短縮 山梨県 事例集 118p

- 成功のポイント
- 同一のパレットを共同利用するパレットプールシステムを採用した
 - 発・着荷主、トラック運送事業者の三者で話し合うことにより、方向性と課題を共有化できた



4. 三菱ケミカルグループ生産技術ポスターセッション参加

昨年10月9日に「第2回三菱ケミカルグループ生産技術ポスターセッション」が開催されました。本展は三菱ケミカルグループの保有する生産技術に関する最新の展開を関係会社・部署と共有し、成長に向けた新しいテーマの発見と設定につなげることを目的としています。旧三菱化学グループとしての開催から通算すると本年度で15回目の開催となり、当社も昨年に引き続き出展しました。

本展は9つのテーマで構成され、安全技術、生産プロセス安定化、設備管理技術、省エネ・環境、生産性向上、品質向上といった各分野に、合計61チームが出展しました。当社は“ICT・AI・ロボティクス分野”に三菱ケミカルシステム社と共同で出展し、以下2つの取組みを紹介しました。

- (1) 事務作業におけるRPA活用事例
- (2) 現場作業における動画マニュアル活用事例



(1) 事務作業におけるRPA活用事例 では、会場でRPAを導入したパソコンを使っでのデモンストレーションも行いました。実際にデータ送受信やインターネットからの情報検索をパソコン内部のロボット（ソフトウェア）が行う様子をご覧頂きました。

当日は当社ブースに多数のご来場を頂き、当社の取組みをPRする良い機会となりました。また、活発な情報交換も行われ、多くのご意見を頂くことができました。

5. MCLC場所紹介 ～西日本エリア営業部 大阪営業所(大阪府大阪市)～

西日本エリア営業部大阪営業所は、大阪市西区川口に事務所があります。メンバーは男性4名、女性3名の総勢7名で、入出庫作業を中心にっております。

周辺にはユニバーサル・スタジオ・ジャパン、海遊館、京セラドーム、大阪市中央卸売市場など名だたる観光施設がありますが、最寄駅である九条駅（大阪メトロ・阪神電鉄）から1本路地に入ると、下町の風情を伝える名物商店街のキララ九条商店街や、ネジ工場、立ち飲み屋など昭和の雰囲気を味わうことができる地域でもあります。

大阪といえば「食い倒れの街」としても有名です。粉もん、串カツ、肉吸いなど大阪ならではの食文化を味わいにお越し頂き、食い倒れてみてはいかがでしょうか。

2025年には大阪万博の開催も決定しました。ますます発展が見込めるここ大阪市西区の地で、K A I T E K I 物流を継続して提供できるよう、所員一丸となり業務に取り組んで参りたいと思います。



キララ九条商店街



昭和の雰囲気漂う立ち飲み屋



市場周辺の夜景



海遊館



大阪名物串カツ

6. 2018 Japan IT Week 秋 講演会聴講レポート

昨年10月24～26日に幕張メッセで開催された当展示会の基調講演を聴講しました。その中から自動運転に関するテーマについてご紹介します。

現在は自動車運転における100年に1度の変革期と言われています。センサ性能、ハードウェア処理能力やAI（ディープラーニング）といった技術革新もあり、自動運転への期待が高まっています。

物流面では、自動運転によってドライバー不足対策や、輸送時間の夜間シフト、複数のバリエーションを持つ車両サービス（例：朝・夕は人、昼間は貨物を運ぶ）による輸送力アップの実現などが期待されています。

現状、自動車専用道路での自動運転については実現可能性が高くなっていますが、一般道では「走路と交通ルールが多様」「様々な移動体が混在し、進行方向も様々」「意思疎通など様々なシーンへの総合的判断が必要」といった課題があります。

技術面以外でも「法規」「事故時の責任所在」「自動運転車とほかの車との共存」などの課題もあります。

本誌でも自動運転に関する記事は過去に取り上げて参りましたが、今回は最新の取組みに関する講演を聴講し、理解を深めることができました。今後も動向ウォッチしアップデートしていきたいと思います。



7. 2019年前半 物流関連 展示会のご紹介

本年も物流に関連する数多くの展示会が開催予定です。下表は今年前半に開催される物流に関連する展示会の一部を表記したものです。物流機器・サービス導入の商談だけでなく、最新の物流技術の動向チェックとしても、参加されてみてはいかがでしょうか。

開始日	終了日	展示会名称	会場
1月16日	1月18日	第2回自動運転 EXPO	東京ビッグサイト (東京)
1月23日	1月25日	第3回 Japan IT Week 関西	インテックス大阪 (大阪)
2月6日	2月8日	日本ものづくりワールド 2019	東京ビッグサイト (東京)
3月5日	3月8日	リテールテックJAPAN 2019	東京ビッグサイト (東京)
4月10日	4月12日	第28回 Japan IT Week 春・前期	東京ビッグサイト (東京)
4月17日	4月19日	交通インフラWEEK2019	幕張メッセ (千葉)
5月8日	5月10日	第28回 Japan IT Week 春・後期	東京ビッグサイト (東京)
5月22日	5月24日	人とくるまのテクノロジー展2019 横浜	パシフィコ横浜 (横浜)
5月29日	5月31日	運輸・交通システムEXPO2019	東京ビッグサイト (東京)
5月29日	5月31日	ワイヤレスジャパン2019	東京ビッグサイト (東京)

※詳細は各展示会の公式HPをご覧ください

編集後記

明けましておめでとうございます。皆様お正月はいかがお過ごしでしたか。私は例年通り近くの神社へ初詣に出かけました。ここで家族の健康や安全を祈願する訳ですが、この神社、勝負ごとの神様として有名で某プロ野球球団が必勝祈願をおこなう神社でもあります。新年には「玉せせり」という玉を奪い合うお祭りが行われ、一方が玉を納めると豊作、もう一方が納めると豊漁になるといわれます。また、祭りの中でこの玉に触れると大きな幸運を授かるそうです。

私もそのような大きな幸運を授かりたいのはやまやまですが、今年も日々精進でやっています。皆様今年も宜しくお願い申し上げます。(I)